

一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団のシンボルマークを決定しました

(一財)岐阜市未来のまちづくり財団は、令和5年4月1日、岐阜市にぎわいまち公社と岐阜市みどりのまち推進財団が合併し、新たに設立いたしました。

都市の価値を高め、活力と憩い・潤い・安らぎのある持続可能で選ばれるまちの実現に寄与するまちづくりや緑化事業を推進しており、当財団の目指すものや将来性、メッセージを伝えることのできる「シンボルマーク」を募集いたしました。

(1) 募集結果

■応募総数 135作品 (応募者数85人)

《属性》 年齢：15歳～82歳
居住地：青森県～鹿児島県(30都府県) 及び大韓民国

(2) 選考結果

●最優秀賞(敬称略)

氏名：^{すがの}菅野 ^{かおる}薫

住所：山形県東村山郡山辺町

《デザイン趣旨》



岐阜市の頭文字イニシャル「G」をモチーフに、市内に流れる日本三大清流の一つ長良川を図案化したデザインです。双葉は岐阜市が取り組む「緑化推進」、建物のシルエットはSDGsのアイコン「11番」のカラーで表し「住み続けられるまちづくり」の意義があり、「まちづくりの推進」を表現しています。全体で「活力と憩い・潤い・安らぎのある持続可能で選ばれるまちの実現に寄与することを目的とする」当財団を表現しています。

●優秀賞(敬称略)

①天野 穂積(静岡市葵区)



②宝谷 隆博(福岡市南区)



(3) 活用事例

ホームページ、名刺、封筒、各種パンフレット/リーフレット、のぼり旗 等